

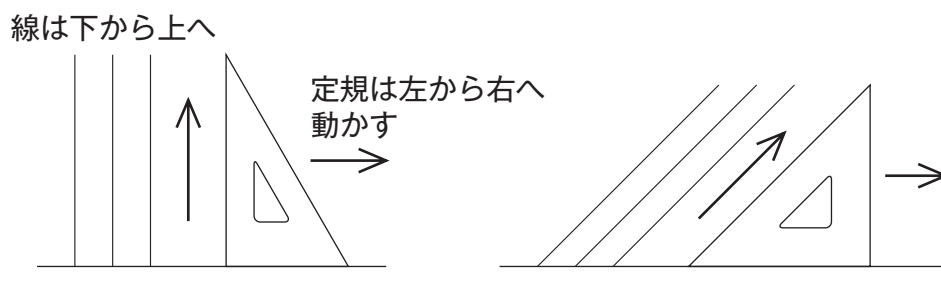
第3章 作図手順

第1節 作図の基本

● 製図用具

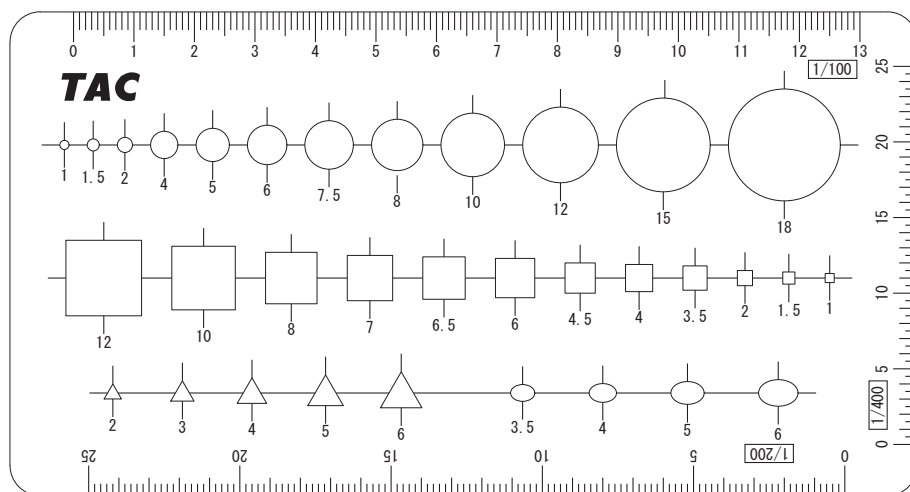
1 製図板

平行定規の付いた製図板を使用する。製図板の寸法は45cm×60cm程度（A2用）とする。



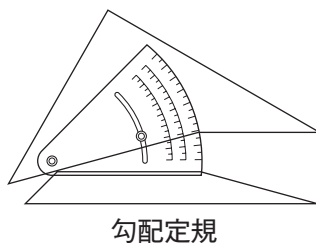
2 型板（テンプレート）

使用できるものは、円、楕円、正三角形、正方形の型板のみである。家具・衛生機器・建築部位、建築設備等を描くための型板は使用できない。



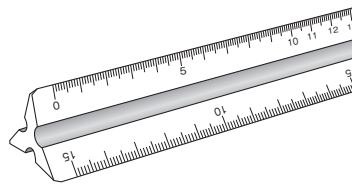
3 勾配定規・三角定規

勾配定規は屋根勾配を描くのに必要である。三角定規は大  と小  を用意すると便利である。

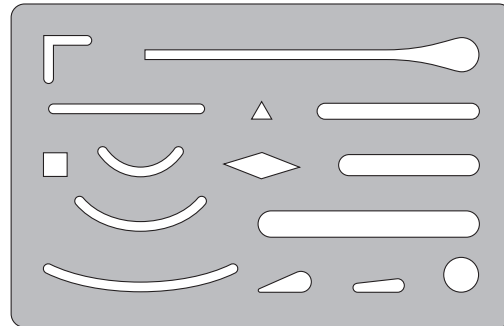


4 三角スケール

15cm又は30cmのものを用意する。

**5 ステンレス製字消し板**

部分的に消したいときに利用する。

**6 はけ**

消しゴムのカスやシャープペンシルの削れた芯を払うために使用する。

7 製図用シャープペンシル

芯の太さは0.5mm、濃さはBを標準とする。

筆圧が弱い場合、表現のメリハリが付かない場合は、芯の太さ0.3mmや0.7mm、あるいは2 Bなど濃いものを用意するとよい。

8 消しゴム

一般的なものの他に、細部を消すには棒消しゴムがよい。電動消しゴムは持込不可。

9 ドラフティングテープ（マスキングテープ）、マグネットテープ

答案用紙を製図板に貼るのに使用する。

10 電卓

加減乗除、ルート、メモリー、%機能、関数機能を限度とし、プログラム機能がなく、小型で音のしないものが使用できる。

11 蛍光ペン

問題文チェック用にピンク、ブルー、イエロー、グリーンの4色程度用意しておくといよい。

12 その他

必要に応じて、時計、ストップウォッチ、製図板の滑り止めマット（他の受験者の妨げになるものは不可）、コンパス、分度器等。なお、問題用紙つり器具、メモ用紙、トレーシングペーパー等は持込不可。なお、図面が黒く汚れることを防ぐためには「フローティングディスク」を使うことも有効である。